



## 欧州各国の水と衛生のための国際連帯活動について (その2)

### (3) イタリア

「水権利基金 (WRF : Water Right Foundation)」は、既に「L'Acqua è di tutti (水がすべてである。)」という連帯基金を通じて水の連帯活動に積極的なトスカーナ地域の地方自治体により、2005年に創設された。

WRF は、水と持続可能な水資源の利用の権利に関する協力、研究及びトレーニング活動を促進することを意図した非営利組織である。

2007年、WRFはフィレンツェ市(別名:フローレンス市)とともに、「連帯のための1ユーロセント(1 euro cent for Solidarity)」を促進するため、あらゆる関係者、国、市町村、州、協会、公営・私営の事業体を集めた「水と衛生に対する権利の実施のための多角協カイニシアティブ(IMADA : L'Iniziativa Multiparterternariato per l'Applicazione del Diritto all)」を創設した。このパートナーシップは、刷新的パートナーシップ活動との関連で UNDP(国連開発計画)の支援を受けて形成された。

2003年以来、地方分権型プロジェクトは、中南米、アフリカ及びアジアの人々が水の利用が可能になるよう、専門のNGO及びWRFと当該地域の地方自治体との間の協定を通じて、貢献している。

(参考1) IMADAのホームページ

[http://www.imada.it/chisiamo\\_ita.html](http://www.imada.it/chisiamo_ita.html)

資金は、主に消費者から「1 m<sup>3</sup>当たり1ユーロセント」を徴収する「(水と衛生の事業者である) Publiacqua 株式会社」によって調達される。会社は、この資金をWRFに信託する。資金は、トスカーナ州などからも寄付される。

2003年から2007年まで、WRFはトスカーナ地域のユーザー(約150万人)、地方自治体、基金などのおかげで、145万ユーロの資金を調達した。そして、アフリカ、モロッコ及びパレスチナにおける22プロジェクトのおかげで、現在、約200万人が水を利用することができるようになっている。

(参考2)「Publiacqua」のホームページ

<http://www.publiacqua.it/>

イタリアにおけるその他のイニシアティブとしては、「Acqua bene comune」と「Solidarietà a Torino」がある。

「Acqua bene comune」は、ベネツィア県及びトレヴィーゾ県の住民63万人から1 m<sup>3</sup>当たり1ユーロセントを徴収することにより資金調達を行っている基金である。この基金は、アフリカ及び中南米における水プロジェクトへの資金供与に用いられる。

「Solidarietà a Torino」は、持続可能な水資源管理モデルを構築する目的の国際協力プロジェクトに資金供与するため、トリノ県が1 m<sup>3</sup>当たり「千分の1ユーロ」を貢献するものである。

(参考3)「Acqua bene comune」のホームページ

<http://www.acquabenecomuneverona.org/>

## (4) 英国

「WaterAid」は、国連の「国際水供給と衛生の10年（1981-1990年）」に対応した（英国の）上下水道産業の公約に従って1981年に設立され、その年、上下水道産業の従業員が25千ポンド（£25,000）の資金を調達した。それ以来、「WaterAid」は、世界の最も貧しい人々が安全な水、衛生及び衛生教育を利用することが可能となるように活動を行っている。

1980年代を通じて、多くが英国の上下水道産業組織に置かれる「地域 WaterAid 資金調達委員会」が形成され、より組織化された資金調達イベントを実施することが可能となった。

1989年のイングランド・ウェールズにおける上下水道事業の民営化により、9つの会社と規制機関が設立された。新たな事業体とそれらの職員は、WaterAidの業務の支援を継続するなどを誓った。

現在、水道会社の職員は、WaterAidの地域チームの支援を得て、WaterAidのために毎年約4百万ポンドの資金を集めるために広範な資金調達活動を実施している。

上下水道産業の従業員は、友人、家族及び地域の人々を動員するため、多くのスポーツ・文化に関する資金調達イベントに参加したり、催したりしている。例えば、マラソン・トライアスロン、ゴルフ・クリケットトーナメントなどである。

このようなイベントのひとつとして「Munro Challenge」があり、同じ日に4～6人のチームがスコットランドのMunro（3,000フィート（914.4m）以上の山）又はイングランド・ウェールズの3,000フィート以上の山頂を目指すものである。2007年には約3,000人が参加し、WaterAidのために25万ポンドの募金が集められた。

2007-2008会計年度においては、40.3百万ポンドの資金が集められ、定期的な寄贈者（regular giver）は約16万人であり、1百万人が水を利用すること可能となり、3百万人が衛生設備を利用することが可能となった。

（参考1）「WaterAid」のホームページ

<http://www.wateraid.org/>

（参考2）「Munro Challenge」について

<http://www.wateraidmunrochallenge.org/>

## (5) オランダ

オランダの大手の水道会社である「Vitens」及び「Evides」は、合わせて7.8百万人に給水している。2006年、両社は、「ミレニアム開発目標7」の達成に貢献するため、「Vitens-Evides International（VEI）」の設立に向けて力を結集することを決定した。

100年以上にわたり、「Vitens」及び「Evides」は水セクターにおいて広範な知識と専門的技術を蓄積しており、サービスと信頼性において世界のトップにある。両社は、開発途上国の水道事業体とともに、知識と専門的技術を共有したいと望んでいる。「Vitens」及び「Evides」の国際的な活動への関わりは、消費者からも認められている。

「VEI」の主な活動は、開発途上国の水道事業体が業務を改善し、より自立し財政的に存続可能となることを支援するため、パートナーシップを築くことにある。「VEI」は、このような「水事業体パートナーシップ（WOPs：Water Operator Partnerships）」の構築の先駆者であると考えられている。

現在、「VEI」は、モザンビーク、イエメン、ベトナム及びモンゴルにおける「WOPs」に従事している。

「Vitens」及び「Evides」は、毎年「VEI」に1百万ユーロを寄付している。この資金を補うため、「Vitens」によって設立された基金である「Water for Life」が、家庭用及び商業用の顧客にターゲットとして資金調達活動を行っている。水道料金の請求書を通じて、開発途上国におけるプロジェクトに貢献することを顧客に求めるチラシが届けられる。

顧客は、1回限りの寄付をすることもできるし、1日当たり5セント、10セント又は15セント（年間合計で、18ユーロ、36ユーロ又は54ユーロ）の一定の金額を寄付する契約を行うことができる。2007年においては、年間約60万ユーロの募金があった。

水セクターの従事者のイニシアティブによって 2002 年に創設された「Aqua for All」は、オランダの水セクターと開発途上国における水と衛生プロジェクトを結び付ける基金である。関係者の間における「かなめ (hinge)」として活動することにより、「Aqua for All」は様々な関係者の活動を助長し、そうして、支援プログラムの効果と影響力を高める。

ビジネス・知識セクターと海外開発援助のパートナーシップを通じて、一定の資金が調達される。ビジネス界からの貢献は合計 2～3 百万ユーロで、オランダ政府からの協調融資に倍増される。

「Aqua for All」は、短期及び長期に対応できる水セクターの専門家 140 人の集団を有しており、国内外において、トレーニング、ワークショップ、調査及び制度的支援を伴うプロジェクトの支援も行っている。このような「現物出資 (in-kind contribution)」は、年当たり約 10～30 万ユーロに相当する。2006～2008 年において、100 万人を超える受益者に飲料水を供給し約 60 万人の受益者のために衛生設備を提供するために、約 18 百万ユーロが使われた。そのうち約 65%は、アフリカに対する直接支援である。

(参考 1) 「Vitens-Evides International」のホームページ

<http://www.vitensevidesinternational.com/>

(参考 2) 「Aqua for All」のホームページ

<http://www.aquaforall.nl/>

## (6) ベルギー

「開発のためのフランダース水パートナーシップ (VPWvO : Vlaams Partnerschap Water voor Ontwikkeling)」は 2004 年の「世界水の日」に設立されたプラットフォームであり、フランダース環境省、公営・私営水道事業者、科学部門及び「ミレニアム開発目標 7」の達成に貢献しようとする NGO によって結成された。フランダースの人口は 6 百万人であり、イニシアティブの目的は、2015 年までに開発途上国において同数の人々が飲料水を利用可能とするものである。2007 年においては、フランダース政府の資金は 45 万ユーロであり、さらにボランティア協力の寄付 231,500 ユーロが加えられた。2005～2007 年の間、「VPWvO」は 16 の良質なプロジェクトを実施した。これらのプロジェクトのおかげで、2007 年末までに、116 千人が飲料水を利用できるようになり、79 千人が衛生設備を利用できるようになった。

(参考) 「VPWvO」のホームページ

<http://www.watervoorontwikkeling.be/>

## (7) スイス

「Solidarit'eau Suisse」は、スイスの NGO 及び「AGUASAN (開発途上国及び移行経済国のための水と衛生の専門家で構成される)」と協力して、スイス開発協力庁 (SDC) によって設立された。

「Solidarit'eau Suisse」は、連帯活動に参加することを望む市町村又は水道事業体と接触してスイスの NGO 及びそのパートナーに対してプロジェクトを提案するために設計されたオンラインのプラットフォームである。こうして、ミレニアム開発目標の達成に貢献するため、資金調達の新たな財源を動員することを目的としている。オンラインプロジェクト形式により、プロジェクトの評価と比較が促進される。AGUASAN の専門家は概念と戦略が健全であることを保証するため、提案に対してセカンドオピニオンを与える。実施の初年度には、13 町村が約 30 万ユーロを寄付し、いくつかの市町村は既に毎年寄付を行うことを約束している。

市町村及び水道事業体は、このようにして、国際連帯活動に参加する方途を用意している。1 年間において消費した水 1,000ℓ当たり 0.67 ユーロセントを提供した者は、1 年間「Solidarit'eau Suisse」ラベルが与えられ、全ての書状や通信において表示することができる。

(参考 1) 「Solidarit'eau Suisse」のホームページ

<http://www.solidariteausuisse.ch/>

(参考2)「AGUASAN」について

[http://www.skat.ch/networks/prarticleblocklist.2005-10-19.3961181971/skatnetworkblock.2005-09-27.3344981421/prarticleblock\\_direct\\_view](http://www.skat.ch/networks/prarticleblocklist.2005-10-19.3961181971/skatnetworkblock.2005-09-27.3344981421/prarticleblock_direct_view)

(文責) センター常務理事兼技監

安藤 茂

---

#### 配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : [jwrchot@jwrc-net.or.jp](mailto:jwrchot@jwrc-net.or.jp)

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

#### 水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h22.html>